

第4回協議会の意見(概要)

7月18日の第4回協議会における委員の意見及び第4回協議会開催後、ご意見提出用紙でいただいた意見の概要です。

内容構成

- 1 道路・交通ネットワーク
- 2 地域資源
- 3 その他の意見
- 4 協議会後の意見

1 道路・交通ネットワーク

歩行者・自転車の通行空間

- ・モノレール駅へ向かう道は**歩道と自転車通行空間の確保**が理想である。
- ・自転車で登校する際、横を大型のバスやトラックが通ると風で揺れて危険を感じる。**自転車通行空間の整備**が望ましいが、そうすると**自転車同士の接触も気を付けなくては**いけない。
- ・大型のトラックが通る際に危険を感じる一方で、止まると後続の歩行者の迷惑になるため悩んでいる。**新青梅街道以外にも自転車通行空間があると良い。**

モノレール利用促進のための整備

- ・武蔵村山市は車で移動している方が多く、駅から離れた位置に住んでいる人の利便性向上のためには、**駅前ロータリーや送迎スペース、駐車場・駐輪場の整備が必要**である。
- ・モノレールの利用促進を図るためには、**ロータリーや駐輪場、一時駐車スペースなど、生活に合わせた整備**を行う必要がある。
- ・現在はどこに行くのも車移動でイメージが湧かないが、交通ネットワークの図が実現すれば、駅から離れて住んでいる人もモノレールが利用しやすくなるのではないか。

先を見据えた交通の在り方検討

- ・モノレールが開通する10年後には世の中の交通の在り方も変わり、**次世代モビリティ等の導入による移動手段の多様化が進んでいくため、先を見据えた交通の在り方を検討**する必要がある。
- ・将来的にMMシャトルが運行するのであれば、**通勤・通学の時間帯などは15分に1本程度の間隔、日中は高齢者の通院利用が主なので30分に1本程度**が良い。

2 地域資源

総合体育館

- ・武蔵村山市には屋内プールがないため、**総合体育館に屋内プール**があると良い。

- ・武蔵村山高校のプールは屋外にあり、冬になると他市の施設まで行かなくてはならない。総合体育館に**屋内プール**があれば、**部活動の練習や皆で集まって泳ぐために利用**したい。
- ・武蔵村山高校ではハンドボール部が総合体育館で練習しているほか、野球部が屋外運動場で練習しているなど、月に1回以上は利用している。
- ・総合体育館は**ハード的な部分ではとてもよく出来ている一方で、活用するためのプログラム等が不足している**と感じる。取組として、誰もが参加出来る初心者向けのスポーツプログラムやスポーツの全国大会を開催し、**集客力を増やしていきたい**。
- ・若い世代がやっているような**ダンスやスケートボード、BMX等が出来る機能**があるとより多く使ってもらえるのではないかな。
- ・武蔵村山高校と市施設との**連携**を深め、相互利用や交流事業を進めるべきである。
- ・高齢者や小さい子ども連れの方も楽しめる、魅力的で安全な場所があると良い。**No.5 駅から体育館まで行く手段もあわせて考えたい**。

里山民家

- ・花壇のデザインや草刈りなどの**体験活動**を増やしたら、訪れる人も増えるのではないかな。
- ・人を集めるには**まず子どもが重要**である。武蔵村山高校等の都立高校や地元の中学校と連携した取組を行い、まずは地元の人を呼ぶことから始めると良い。
- ・市や武蔵村山高校が企画を東京都に持って行って、コラボレーションすることも良いのではないかな。

その他の地域資源

- ・個人でやっているケーキ屋があり、おいしくてよく利用している。
- ・**旧青梅街道**は歴史的な雰囲気が残っており、里山民家につながる道でもあるので散策路等で生かせないかな。

3 その他の意見

- ・No.5 駅が通過駅とならないために、**三ツ木地区会館を多目的化**し、市全体のランドマークとしてはどうか。
- ・モノレールが開通すれば、これまでよりも広い範囲から通学可能となり、入学希望者が増えるのではないかなという期待がある。一方で、市内の中学生が都心方面の高校を選択することも増え、希望者が減少することを危惧している。

4 協議会後の意見

※全文は参考資料 3 に掲載

地域資源活用の取組について

- ・里山民家において多世代間の交流の場を形成するとともに、子どもたちの食育という観点も踏まえ、**古民家カフェ**等の環境があると理想的である。

- ・総合体育館について、**中学・高校生の部活動の場**としての利用が望ましい。またインクルーシブな遊具等を設置することで、**障害の有無問わず多世代の方が利用可能な環境**になるのではないかと。さらに、英語表記を積極的に行い、**多国籍な市民が気持ちよく利用できる施設**になることも大事な視点である。
- ・三ツ木地区会館において、生涯学習として**英語レッスンを受けられる環境**があると良い。NYC のキャンパス誘致検討を契機に、市民全体の国際感覚の意識醸成は国際的な学術拠点の一つを形成する上で必要な要素である。

交通ネットワークとモビリティ

- ・バスが **15 分～30 分ごとに運行**すると高校生としても助かる。
- ・高輪ゲートウェイシティの自動走行モビリティ「iino」

産学連携の取組

- ・他自治体の職員として**産学連携**に携わり、大学や企業等と連携してまちの活性化を果たした経験を活かし、事例を紹介したい。
- ・荒川区でのものづくり企業の活性化を目標としたプロジェクトや、多摩大学が多数の自治体と連携して地域課題を解決しているプロジェクトについて紹介できると良い。